

TECAPRO MT black - 切削加工用プラスチック素材 (丸棒、板材、チューブ)

プラスチックの種類

PP (ポリプロピレン)

色

黒色 不透明

密度

0.92 g/cm³

フィラー・添加剤

耐熱安定剤

主な特徴

- 耐熱安定処方
- 生体適合性
- 良好な耐薬品性
- 耐加水分解性・加熱蒸気耐性
- 低い吸湿性
- 良好な滑り性と摩耗特性

使用分野

- 医療技術
- 食品
- 製薬業界

機械特性	測定条件	値	単位	規格	注釈
引張強度	50mm/min	37	MPa	DIN EN ISO 527-2	(1) 引張試験片タイプ1b
引張弾性率	1mm/min	2000	MPa	DIN EN ISO 527-2	(2) 曲げ試験：標準試験片、支点間距離64mm
引張降伏強度	50mm/min	37	MPa	DIN EN ISO 527-2	(3) 試験片：10×10×10mm
引張降伏伸び	50mm/min	5	%	DIN EN ISO 527-2	(4) 試験片：10×10×50mm、歪み0.5～1%の圧縮弾性率
引張破断伸び	50mm/min	34	%	DIN EN ISO 527-2	(5) シャルピー衝撃試験：標準試験片、支持台間距離64mm
曲げ強度	2mm/min, 10 N	56	MPa	DIN EN ISO 178	(6) 試験片：4mm厚
曲げ弾性率	2mm/min, 10 N	2000	MPa	DIN EN ISO 178	
圧縮強度	1% / 2% / 5% 5mm/min, 10N	16/26/49	MPa	EN ISO 604	(3)
圧縮弾性率	5mm/min, 10 N	1600	MPa	EN ISO 604	(4)
シャルピー衝撃強度	最大：7.5 J	160	kJ/m ²	DIN EN ISO 179-1eU	(5)
ノッチ付き シャルピー衝撃強度	最大：7.5 J	5	kJ/m ²	DIN EN ISO 179-1eA	
ボール圧入硬度		100	MPa	ISO 2039-1	(6)

熱特性	測定条件	値	単位	規格	注釈
ガラス転移点		-10	°C	DIN EN ISO 11357	(1) 文献値
融点		161	°C	DIN EN ISO 11357	(2) 文献値。実際の使用に際し、必ず試験をして下さい。
熱変形温度	HDT, Method A	87	°C	ISO-R 75 Method A	
使用温度	短期	140	°C		(2)
使用温度	長期	100	°C		
線膨張係数(CLTE)	23-60°C 流れ方向	13	10 ⁻⁵ K ⁻¹	DIN EN ISO 11359-1;2	
線膨張係数(CLTE)	23-100°C 流れ方向	14	10 ⁻⁵ K ⁻¹	DIN EN ISO 11359-1;2	

電気特性	測定条件	値	単位	規格	注釈
表面抵抗率		10 ¹²	Ω	-	(1) Due to the black colourant and moisture uptake of the material the electrical insulation properties cannot be 100% guaranteed, despite single measurements suggesting otherwise.
体積抵抗率		10 ¹⁴	Ω*cm	-	(1)

その他の諸特性	測定条件	値	単位	規格	注釈
吸水率	24時間/96時間 (23°C)	0.01 / 0.02	%	DIN EN ISO 62	(1) 50mmφ、13mm厚 (2) (+)条件付きで耐性有り (3) UL(イエローカード)には収載されていない。
熱水耐性・耐アルカリ性		(+)		-	(2)
耐候性		(+)		-	
難燃性(UL94)	相当	HB		DIN IEC 60695-11-10;	(3)

エンズィンガー社が提供する情報は、発行日時点での技術情報ならびに知識に基づくものであり、当社の製品とその加工品に適用されます。本資料の情報およびデータは、耐薬品性、製品品質および商品性を法的に保証するものではありません。本製品を医療用あるいは歯科インプラントに使用することを禁じます。弊社は、既存の商用特許を遵守します。本資料の値は代表値であり、最小値でも最大値でもありません。あくまで素材を選ぶ際の比較のためのもので、一般的な分布をともなって観察されるものであり、保証値ではありません。そのため、本資料の値を製品規格値として使用することはできません。特に断りのない限り、特定の形状の押出成形品(直径40～60mmの丸棒：DIN EN 15860規格に準拠)から切削加工した試験片を用いた試験結果です。切削加工用素材の特性値は、成形品の形状に依存し、流動配向の影響を受けます(特にガラス・炭素繊維強化グレード)。よって、お客様の責任において各種試験を実施なされた上でご判断いただく必要があります。本資料に記載された情報は、定期的に再測定するものであり、当サイトwww.ensinger-online.comにて最新の情報を入手することができます。